

住み慣れたまちで 最期まで暮らすということ

終末期を迎えたとき、どこで過ごし、どのように過ごせるのか？

医療、介護はどこまでサポートしてくれるのか？

家族の負担は？ やっぱり病院が安心？

・・・知っていれば、自分らしく納得のいく選択ができるはず。

在宅看取りを実現したご家族、医療・介護関係者の話を聞く市民の集いです。

I 基調講演

「最期までお家で生活するために」

川島 孝一郎 氏 (仙台往診クリニック 院長)

北里大学医学部卒業、東北大学大学院医学研究科修了。在宅で暮らしを続ける医療を目指し、「仙台往診クリニック」を開業。東北大学医学部臨床教授(総合診療部)、東北大学サイクロترون・ラジオアイソトープセンター研究教授。厚生労働省「終末期医療に関する調査等検討会」委員などを歴任。著書多数。



II パネルディスカッション

「医療と介護の連携 ～ 地域住民のために」

コーディネーター 月岡 恵 (新潟市保健所長)

パネリスト

医師 永井 博子氏 (押木内科神経内科医院 副院長)

訪問看護師 片岡 和江氏 (訪問看護ステーションかめだ 管理者)

ケアマネジャー 青柳 礼子氏 (在宅介護支援センター横雲の里 主任介護支援専門員)

看取り経験家族 水都家艶笑氏 (新潟落語会 会長)



入場無料
どなたでもご
参加いただけ
ます

と き 平成28年3月21日(月) 午前9時30分(開場9時)

ところ 江南区福祉センターきらとびあ(江南区役所となり)

※満車の場合は江南区役所駐車場をご利用ください。

申込み 3月14日(月)まで

新潟市役所コールセンター 025-243-4894